

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年五月度 入賞句一覽 投句数 千四百五十二句

奥の細道  
むすびの地



特選

高木 恵理 選

友だちにすつぽかされたねぎぼうず 大垣市 田中 匠実(小四)

「ねぎぼうず」とは、今年収穫されなかった「ねぎ」のことですね。まるで、誰かにすつぽかされたような「ねぎぼうず」。でも、その姿は愛嬌があります。作者も友達に約束をすつぽかされたのかしら？たどえそうだとしても、この俳句からは、友達を許してしまふ作者の優しい思いも感じられるのです。それは、「ねぎぼうず」という季語が大きな役割を果たしているからでしょう。

うぐいすがおおきいこえをだしている 大垣市 森 陽向(小四)

今の世の中は、まだまだコロナ禍で、大きな声を出すことが難しいですね。学校でも、あまり大きな声を出さないように気を付けているのだと思います。その一方、自然の中のうぐいすは、「大きい声を出している」という作者の大きな発見。当たり前のことができる社会は、もうすぐ近くまで来ていますよ。

はるがきてみんなでたべるおべんとう 大垣市 し水 こと音(小二)

あたたかい春の風に誘われて、お出かけする機会が増えてきましたね。家族と一緒にピクニックに出かけたのでしょうか。「おいしい」「たのしい」というような言葉は使っています。せんが、みんなで素敵な時間を過ごしている様子が伝わってきます。簡単な言葉でさりと表現していることがいいですね。

秀逸

春の雨和菓子タルトがあるなんて 加茂郡川辺町 赤塚 亮介(中二)

優しさを照らしてくれる朧月 加茂郡川辺町 加藤 葵衣(中二)

かたつむりぬれたはのうえきようそうだ 大垣市 澤田 健吾(小二)

ピカピカの自転車とつくん風光る 大垣市 伊藤 晟牙(小四)

わたげがねつれてつてよとかぜにいう 大垣市 小川 さくら(小四)

おおぞらにはばたくようなこいのぼり 大垣市 高田 理央(小四)

わたげたちふーととばさせかいりよこう 大垣市 山本 えんじ(小二)

こいのぼり気もちよさそう風の町 大垣市 桑原 璃名(小三)

夏の花わらっているよきらきらと 大垣市 土屋 璃明(小四)

流れ星ねがいをかなえ落ちていく 大垣市 安田 樹矢(小四)

入選

桜の木出合いがあると云つてるよ

加茂郡川辺町

嶺川 大智(中二)

ペダルふみ類で感じる春風を

加茂郡川辺町

小林 歩野花(中三)

がんばってえさをとどけるおやつバメ

大垣市

中村 こうせい(小二)

いぶき山もう白くない春だなあ

大垣市

高木 龍之介(小四)

ちようちよさんお花のみつはおいしいの

大垣市

北川 結菜(小四)

うぐいすの声ききながら初カヌー

大垣市

伊藤 麻央(小六)

れんげそうむらさきいろがならんでる

大垣市

うすい せな(小二)

こいのぼり大きな空でおよいでる

大垣市

たかはし ゆうたろう(小二)

かぎぐるまくるくるまわるめがまわる

大垣市

渡辺 楓(小三)

とかげさんくらいところにあられる

大垣市

細川 れん(小三)

はるおわるだんだんけしきみどりいろ

大垣市

興柁 ねね(小三)

いちご食べあまいかおりがひろがるよ

大垣市

松下 ゆゆ(小三)

とりのこえそとにとびだすあははるだ

大垣市

堀井 心陽(小三)

四月来た三年生のスタートだ

大垣市

瀧ヶ平 咲希(小三)

もちもちのみどりゆたかなかしわもち

大垣市

近藤 夏帆(小四)

あげはちよう青空高くまい上がる

大垣市

高橋 由弥(小四)

あさりくんなかまがとられかわいそう

大垣市

近藤 帆希(小四)

こいのぼりぼうをくわえておよいでる

大垣市

伊藤 雪成(小四)

もも色の千年ざくらまんかいだ

大垣市

棚橋 遥香(小四)

なつのかぜにじんだえのぐすぐかわく

大垣市

今村 涼菜(小四)

選者吟

この先は飛行場なり春の虹

恵理



小中学生の部